

J R 総連通信

2019年3月18日 No.1305

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

JR東海は新幹線運行に必要な要員を確保せよ！

JR東海の「本人の同意なき一方的な休日出勤」に関する国会議員説明会を開催！ JR東海労



説明をするJR東海労・木下委員長



熱心に説明を聞く国会議員の皆さん

JR総連とJR東海労は3月15日、衆議院第二議員会館会議室でJR総連推薦議員懇談会の議員の皆さんに、JR東海で行われている「本人の同意なき一方的な休日出勤」の説明会を開催した。JR東海労から木下委員長を始め多くの組合員が参加し、一方的な休日出勤の問題と職場の現状について報告した。

説明会には、国会開催中にも関わらず多くの国会議員及び秘書の方々に参加していただいた。

JR東海労の木下委員長から、新幹線職場を中心に行われている本人の同意なき一方的な休日出勤の強要について現状を説明した。木下委員長は、本人への説明もなく同意を得ることもないまま一方的な休日勤務の指定は、「労働基準法が禁止している強制労働に抵触する」「働き方改革の趣旨に逆行する」「社員の年間休日120日が一方的に剥奪されている」「社員を犠牲にしたリニア建設のための経費節減である」と訴えた。また、参加した組合員から職場で発生している現状について報告した。

参加された議員からは「なぜ新幹線職場だけ休日出勤があるのか?」「なぜ5日前の勤務確定になるのか?」「年休の勤務指定は法律違反である」「120日の休日指定はどのようにしているのか」など多くの質問と意見が出され、予定時間一杯まで議論が交わされた。

最後に木下委員長から、説明会への参加のお礼と一方的休日出勤の指定は少なくとも社員の同意を得ること、年間休日120日と年休20日間を休める要員の確保に向けた取り組みを進めることを明らかにし、国政の場での働きかけと支援をお願いし、説明会を終了した。



**社員の健康や社会的生活が犠牲になる
一方的休日出勤の強要を許さない！**